

ホタルイカ コロナで6割安



ホタルイカの競り場で品質を確認する仲買人＝兵庫県香美町香住区沖浦、柴山港

但馬、空前の安値相場

新型コロナウイルス関連
但馬の沖合底引き網漁船によるホタルイカの漁獲量が1～3月、前年同期比65%増の1474トと大幅に伸びた一方、1ト当たりの平均単価は同63%減の299円に急落していることが、

同事務所によると、兵庫県のホタルイカの漁獲量は全国トップクラス。近年は島根や山口県沖に偏りがちだった漁場が、今年は但馬沖を中心に形成され、漁獲量は1月が7ト、2月が276ト、3月が1190トと急増した。しかし、外出自粛などの影響で飲食店向けを中心に需要が急減し、3月の1ト当たり平均単価は200円（前年同月866円）と一気に下落した。

1～3月 豊漁も消費激減で窮地

例年、漁獲量がピークを迎える4～5月は単価が下がる傾向になるとい、消費が持ち直さないままだと今季の「上昇は考えにくい」と同事務所。シーズンを通じた平均単価が過去10年の最低（1ト当たり237円）を更新することが予想されるという。

香住漁港西港（兵庫県香美町香住区若松）で今月17日に開かれた競りでは、生ホタルイカ507箱（1箱10ト以上）が1箱当たり1400～1700円（1ト当たり1400～1700円）、冷凍ホタルイカ100箱（1箱8ト）が1箱当たり1300円（1ト当たり163円）で落札された。

但馬漁協香住支所の澤田敏幸販売課長（51）は「例年の半値以下。これ以上安くなる」と、漁師は漁を続けるのが難しくなる」と指摘。「ほかの鮮魚も値が下がっているため、ホタルイカ漁を休業しても代わりに取るものがないのが現状では」と話している。

兵庫県但馬水産事務所の前で分かった。新型コロナウイルス感染拡大を受け、首都圏や京阪神の外食需要が減少。豊漁による供給過多と相まって空前の安値相場が続いている。

（金海隆至）

（C）神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

なまえ

①ホタルイカが特に安い理由を答えましょう。

ホタルイカの

が前年同期より

大幅に

一方、

新型コロナウイルス感染拡大を受け、首都圏や

京阪神の

が減少したから。

②今期の値段の上昇が、考えにくいのはどうしてでしょうか。